

## 市町議会と県議会との交流・連携「ブロック会議」について

### 1 現状

ブロック会議の開催については、昨年10月9日に開催した「市町議会と県議会との交流・連携に向けた三者会議」において、参考資料のとおり確認されたところであり、その後の協議内容は次のとおりである。

#### (1) ブロック会議開催に係る役割分担について

三者会議では、ブロック会議は市町議会が主体となって進めることで確認されたところであるが、その後の具体的な協議の中で、市議会議長会から、ブロック会議開催に係る事務負担については県でお願いしたいとの意見が出され、現在のところ協議が進まない状況となっている。

#### (2) ブロック割について

ブロック割については、次の6圏域を基本とすることで概ね整理されたところである。

北勢5市5町、伊賀2市、津1市、松阪1市3町、南勢志摩3市4町、東紀州2市3町

#### (3) ブロック会議の経費負担について

ブロック会議開催に係る想定経費(4万円)については、補正対応も含めると約8割の市町議会において予算計上される予定である。

なお、予算計上していない団体の中には、理由として、ブロック会議開催に係る事務負担の協議が三者で解決していないことをあげているところもある。

### 2 今後の対応(案)

現時点では、ブロック会議開催に係る事務負担について協議が進まない状況にあり、今後は、まずモデル的に実施するブロックを三者で1ヶ所選定したうえで、県議会が主体となってブロック会議を展開していくこととする。

その後、他のブロックについても順次、展開していくこととする。

なお、開催後は三者でブロック会議の展開方法等を検証したうえで、改めて事務負担については協議するものとする。